

2024 年度 機能性フィルム研究会/京都合成樹脂研究会

共催例会 開催プログラム(配信版)

主催:機能性フィルム研究会/京都合成樹脂研究会

(企画担当)

機能性フィルム研究会:(一財)大阪科学技術センター川崎 真一/理事

Toppan(株) 溝淵 隆/幹事

京都合成樹脂研究会:(地独)京都市産業技術研究所 仙波 健/研究主幹

- ◆ 開催日時:2024 年 11 月 15 日(金)13:00~17:05(予定)
- ◆ 会場:(地独)京都市産業技術研究所 (<http://tc-kyoto.or.jp/access/>)
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 京都リサーチパーク 9 号館南棟
TEL:075-326-6100 / FAX:075-326-6200
- ◆ 例会開始:13:00~17:10
 1. 13:00~13:05 (5分) 開会挨拶
 2. 13:05~14:45 (100分) 「メンバーズインサイト」 20分×5社
 - 1) 立命館大学 堤研究室
 - 2) 協和ファインテック(株)
 - 3) スタールジャパン(株)
 - 4) 中沼アートスクリーン(株)
 - 5) 三和化工(株)
 3. 14:45~14:50 (5分) 休憩
 4. 14:50~15:40 (50分) 講演①「天然色素の発色メカニズムとプラスチックへの応用」
講師:(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター
主席研究員 井内 俊文氏
<講演のポイント>
天然色素は自然界に遍く存在する植物、動物、鉱物に由来した色素であり、古代から世界中で利用されている。一般に「草木染め」と称される天然染料染色は、植物などから抽出した色素で絹や羊毛などの動物性繊維を染色するものであるが、近年プラスチックの染色に利用したいといった要望もある。本講では、天然染料の繊維に対する染色メカニズムを紹介するとともに、実際にいくつかのプラスチックを天然染料により染色した事例を示す。
 5. 15:40~15:45 (5分) 休憩
 6. 15:45~16:35 (50分) 講演② 「フランス高機能材料メーカーのポリマービジネスのグローバル展開 — サステイナブル社会の実現に向けて(仮題)」
講師: アルケマ株式会社 取締役副社長 宮保 淳氏
<講演のポイント>
フランスを拠点とし、京都にテクニカルセンターを有するグローバル高機能材料メーカーであるアルケマ社は、サステイナブル社会の実現に向けて植物由来、環境負荷低減、ウェルネス向上、リサイクルといった観点から様々な高機能樹脂材料ビジネスを展開している。本講演で

は環境意識の高いヨーロッパ発の高機能材料の日本における用途開発の最新情報を紹介し、日本における研究やビジネス開発分野での協業を更に促進する機会としたい。

7. 16:35～16:40 (5分) 休憩
 8. 16:40～17:00 (20分) 矢野経シリーズ「自動車用フィルム・シート市場の動向」
 9. 17:00～17:05 (5分) 閉会挨拶
- ◆ 技術交流会(事前申込必須) 17:30～19:30
 - ・ 会場:「GOCONC 京都リサーチパーク店」(<https://kagonoya.food-kr.com/0605/>)
 - ◆ 問合せ先: kinou-reikai@kinouseifilm.com (矢島)

「機能性フィルム研究会開催行事に於ける新型コロナ感染対応について」*

2023年7月1日

1. 発熱のある方や体調の優れない方は、参加をお控えいただきますようお願いいたします。
2. 新型コロナに感染された方は、有症状の場合、「発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまでの間」、また無症状の場合、「検体を採取した日から5日を経過するまでの間」外出を控えることが推奨されておりますので、この間の現地参加はお控えいただきますようお願いいたします。
3. 現地参加者のマスク着用に関しては、個人の判断が基本となりますが、最近の感染者増加傾向を考慮し、マスク着用を推奨いたします。なお例会開催の場合では、講演者にはマスクなしで発表いただきますが、聴講者とは十分な距離を取って行ないます。
4. 受付時に手指消毒用消毒剤を用意しておりますので、随時ご利用下さい。
5. 今後の社会状況の変化によって対応を変更する場合には適宜ホームページ等でご案内いたします。

以上